



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 各務 正人
 (氏名) 赤堀 政彦
 TEL 03(5441)7193

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	255	3.4	116		120		91	
2020年3月期第1四半期	246	30.3	89		85		88	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 121百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 88百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	78.75	
2020年3月期第1四半期	75.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	756	273	28.6
2020年3月期	719	235	28.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 216百万円 2020年3月期 207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	23.0	230		170		76		65.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,166,292 株	2020年3月期	1,166,292 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	102 株	2020年3月期	102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,166,190 株	2020年3月期1Q	1,164,517 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2020年8月17日(月)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動の停滞等の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況となっております。

このような環境の下、感染リスクを考慮した時差出勤やテレワークを導入し、事態の長期化に備える企業が増えつつあり、クラウドサービスやシェアリングサービスの活用ニーズも高まっております。

当社グループのソーシャル・ウェブメディア事業及びシェアリングビジネス事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、企業の人材採用が減少傾向となる一方、コロナ禍が追い風になって成長が加速する企業の積極的な人材獲得への意欲や、この状況下でも強みを発揮できるオンラインを通じたシェアリングビジネスへの需要は高まっております。

また、当社グループのビジネスアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業がこれまでも進めてきた働き方改革に加えて、コロナ禍における急務のリモート環境整備であったり、近年のAI・オムニチャネル等デジタル変革へのIT投資によって、引き続き当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、当社グループの業績につきましては、ソーシャル・ウェブメディア事業では、コロナ禍における顧客の慎重な姿勢が影響し、売上高の落ち込みによりセグメント損失を計上しております。ビジネスアプリケーション事業では、クライアントの積極的なシステム投資によりセグメント利益を計上しております。シェアリングビジネス事業では、タイムチケットサービスのユーザー数獲得のための広告費支出及びシステム開発の先行投資によりセグメント損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は255,074千円（前年同四半期比3.4%増）、営業損失は116,650千円（前年同四半期は営業損失89,426千円）、経常損失は120,872千円（前年同四半期は経常損失85,580千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は91,846千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失88,136千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、働く人のための情報プラットフォーム、キャリコネ、キャリコネ企業研究Resaco、キャリコネニュースへの訪問者数は堅調に推移しました。しかしながら、コロナの影響により顧客受注が減少したため、対策として受注獲得機会向上を目的とした、求人広告及び採用代行サービスの営業組織強化を図っております。

以上の結果、ソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は118,279千円（前年同四半期比26.4%減）、セグメント損失は22,001千円（前年同四半期は26,959千円のセグメント利益）となりました。

② ビジネスアプリケーション事業

ビジネスアプリケーション事業は、DX（注1）を重点キーワードと定め、新たにエンタープライズ向けオープンソース企業、Red Hat社と販売代理店契約を締結し、継続してマーケティング及び営業活動を推し進めています。

以上の結果、ビジネスアプリケーション事業の売上高は120,793千円（前年同四半期比54.9%増）、セグメント利益は12,909千円（前年同四半期は62,835千円のセグメント損失）となりました。

③ シェアリングビジネス事業

シェアリングビジネス事業は、CtoC向けサービス（注2）及びシェアリング・エコノミー型サービス（注3）を展開する株式会社タイムチケットが運営するTimeTicket（タイムチケット）及びスイスZug州のTimeticket GmbHが対象セグメントです。タイムチケットは、個人が空き時間を売買するサービスとなります。2019年7月から法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスとなるTimeTicket Pro（タイムチケットプロ）を開始いたしました。2019年6月にタイムチケット事業を分社化し、2019年6月、8月、11月及び2020年5月の第三者割当増資により総額342,867千円を調達しております。タイムチケットにおいては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム大規模改修を行っております。

以上の結果、シェアリングビジネス事業の売上高は17,754千円（前年同四半期比125.3%増）、セグメント損失は63,773千円（前年同四半期は17,365千円のセグメント損失）となりました。

（注1）DXとは、デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で経済産業省では、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」と定義。

出典

経済産業省「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン」

<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181212004/20181212004-1.pdf>

(最終アクセス2020年7月30日)

(注2) CtoC向けサービスとは、商取引の形態のうち主に一般消費者同士の売買・取引を扱う形態のサービス。

(注3) シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸出しを仲介するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ37,118千円増加し、756,839千円となりました。これは主に現金及び預金の増加136,110千円、仕掛品の増加2,374千円、売掛金の減少117,393千円、前払費用の増加7,158千円、によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ1,060千円減少し、483,008千円となりました。これは主に、前受金の増加57,464千円、受注損失引当金の減少2,500千円、未払費用の減少21,093千円、によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ38,179千円増加し、273,831千円となりました。これは主に子会社である株式会社タイムチケットの第三者割当増資等による資本剰余金の増加102,856千円、非支配株主持分の増加29,838千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上91,846千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、クラウド市場を取り巻く環境の堅調な需要を背景に、売上高は1,600,000千円となる見込みです。これは、主にTimeTicket Pro(タイムチケットプロ)の拡大によるものです。また、利益面では売上の増加となるも、営業損失は230,000千円、経常損失170,000千円、親会社株主に帰属する当期純損失76,100千円となる見込みです。これは、主にTimeTicket Pro(タイムチケットプロ)への投資が増加したことによるものです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響も含めた経営環境や市況動向等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症はいずれは収束に向かうと思われるものの、未だ先行きが見通せず業績への影響も不透明なため、2020年5月13日に公表した通期業績予想から変更ございません。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況等に変化が生じ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

一方、2020年4月1日に開示した「暗号資産取引所との基本契約締結について」による業績に与える影響につきましては、IEO(注)自体が業績に与える影響として、2019年12月27日に開示いたしました「「タイムコイン」に関するホワイトペーパー発表に関するお知らせ」で開示したとおり、本IEOは暗号資産タイムコインの販売であり、受領した対価を受領時に収益として認識して計上することを監査法人と協議し確認しております。受領した対価が暗号資産の場合は、暗号資産を早急に現金化する予定です。

また、調達した資金で行う事業が業績に与える影響として、暗号資産の販売状況及び各資金使途に充当する金額・充当期等の資金使途の詳細につきましては、判明次第、速やかにお知らせする予定です。調達した資金は一時的に収益に計上しますが、ユーザー獲得や中国語圏でのサービス展開のための開発費用として、2021年3月期に調達した資金の同額程度を使用する予定です。調達予定額に達しない場合はグローバル展開を中止する可能性があります。

(注) IEOとは、Initial Exchange Offeringの略称で、ブロックチェーンプロジェクトの発行するトークンを、仮想通貨取引所が先行販売するサービスを指します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	326,993	463,104
売掛金	260,230	142,836
仕掛品	20,010	22,384
前払費用	65,204	72,362
その他	15,485	16,115
貸倒引当金	△8,964	-
流動資産合計	678,959	716,803
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	10,397	8,921
長期前払費用	17,094	13,837
その他	13,270	17,277
投資その他の資産合計	40,761	40,035
固定資産合計	40,761	40,036
資産合計	719,721	756,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,499	19,605
1年内返済予定の長期借入金	77,160	77,160
未払費用	98,844	77,751
未払法人税等	2,352	588
未払消費税等	23,064	7,218
前受金	82,910	140,374
賞与引当金	5,922	4,122
返金引当金	116	34
受注損失引当金	2,500	-
その他	59,087	66,524
流動負債合計	379,457	393,377
固定負債		
長期借入金	102,328	83,038
繰延税金負債	2,283	333
その他	-	6,259
固定負債合計	104,611	89,630
負債合計	484,069	483,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,711	90,711
資本剰余金	444,513	547,369
利益剰余金	△330,103	△421,949
自己株式	△401	△401
株主資本合計	204,720	215,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,776	413
その他の包括利益累計額合計	2,776	413
新株予約権	1,155	850
非支配株主持分	26,999	56,838
純資産合計	235,651	273,831
負債純資産合計	719,721	756,839

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	246,592	255,074
売上原価	152,312	166,620
売上総利益	94,279	88,454
販売費及び一般管理費	183,705	205,105
営業損失(△)	△89,426	△116,650
営業外収益		
受取利息	-	0
仮想通貨評価益	1	623
仮想通貨売却益	2,127	2,973
持分法による投資利益	3,255	-
その他	0	608
営業外収益合計	5,385	4,204
営業外費用		
支払利息	168	394
為替差損	1,370	131
持分法による投資損失	-	7,900
営業外費用合計	1,538	8,426
経常損失(△)	△85,580	△120,872
特別利益		
新株予約権戻入益	35	305
特別利益合計	35	305
特別損失		
減損損失	1,659	268
特別損失合計	1,659	268
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,205	△120,836
法人税、住民税及び事業税	259	588
法人税等調整額	672	△1,950
法人税等合計	931	△1,362
四半期純損失(△)	△88,136	△119,473
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,136	△91,846
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△27,627
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	36	△2,529
持分法適用会社に対する持分相当額	40	165
その他の包括利益合計	76	△2,363
四半期包括利益	△88,060	△121,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,060	△93,957
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△27,879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月15日に株式会社タイムチケットの株式を一部売却したことに伴い、資本剰余金が38,042千円増加しました。また、当社の連結子会社である株式会社タイムチケットは、2020年5月18日に第三者割当増資を実施し、総額120,537千円の払い込みを受けました。これにより、資本剰余金が64,813千円増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が102,856千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が547,369千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル ・ウェブメ ディア事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	160,728	77,982	7,881	246,592	-	246,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	160,728	77,982	7,881	246,592	-	246,592
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	26,959	△62,835	△17,365	△53,241	△36,184	△89,426

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△36,184千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社費用として固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、1,659千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル ・ウェブメ ディア事業	ビジネスア プリケーシ ョン事業	シェアリン グビジネス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,377	120,793	16,903	255,074	-	255,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	902	-	850	1,752	△1,752	-
計	118,279	120,793	17,754	256,827	△1,752	255,074
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△22,001	12,909	△63,773	△72,866	△43,784	△116,650

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△43,784千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告セグメントに帰属しない全社費用として固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失は、当第1四半期連結累計期間において、268千円であります。
- 3 報告セグメントの変更等に関する事項
前第2四半期連結会計期間から、「ソーシャル・ウェブメディア事業」に含まれていた「シェアリングビジネス事業」について、株式会社タイムチケットを設立したことを契機に組織変更を行ったため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。
なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。